

学校だより



ひかわ



校訓 洗心・奉仕・鍛錬

令和3年度
氷川中学校
令和4年2月22日
第11号文責 里永典隆

進学、進級まで残りわずか！次のステップに備えて

今日は2022年2月22日、「2」がたくさんの日です。日に日に昼の長さが長くなり、暖かさが増してきました。早いもので2月も終わろうとしています。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とよく言われますが、そのように実感されます。本年度も総まとめの時期となります。新型コロナウイルス感染状況は2月はじめにピークを過ぎたようですが、感染者の大幅な減少までは至っていません。3月4日はいよいよ卒業式。3年生は氷川中学校を巣立っていきます。1・2年生は次の学年へと進級していきます。4月から始まる新しいステップを見据え、しっかりと準備をしてほしいと思います。



志高く！これからの自分を見つめて！2年生立志式

2月1日、2年生は立志の行事で龍峯山までの遠歩と5合目「創造の広場」で立志式を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から山頂までは登らず、学校から5合目の駐車場まで登り、立志式を行い、一人一人が立志の誓いを述べました。自分で選んだ漢字一文字について、今の自分を見つめ、これから夢や希望に向かってどのように生きていくのか誓いの言葉をみんなの前で述べました。そして昼食。2年PTA役員さんが温かいカップみそ汁を準備していただき、とても寒い天気でしたが体が温まりました。約2時間かけて学校に戻り、到着後、閉会式を行いました。式では氷川中学校同窓会「氷川会」会長の片山様にお話をしていただき、立志式記念品として浮きのストラップもいただきました。ありがとうございました。14歳という一つの区切りに自分の将来を考えるよい機会となりました。4月から最上級生として学校を引っ張っていく2年生に期待したいと思います。



【片山会長より記念品の贈呈】



【5合目展望台で、2年1組】



【5合目展望台で、2年2組】

学力向上に向けて！熊本県学力・学習状況調査結果より

12月に熊本県学力・学習状況調査が実施され、1・2年生が国・数・英の教科調査と質問紙調査を受けました。その結果が届きましたのでお知らせします。

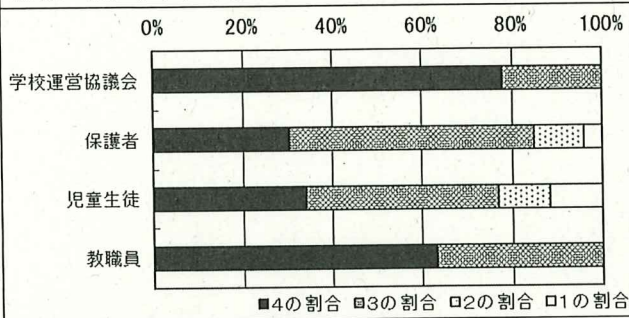
教科調査による本校1・2年生の学力の状況ですが、全体的には全国平均、熊本県平均を上回っています。2年国語のみほぼ全国平均と同程度の状況ですが、1年生英語においては県平均を10ポイント近くも上回っています。

質問紙調査結果において、県平均と比べ肯定率が高かった項目は、1年生が「家は心の安らぐ場所である」「近所の人に会ったらあいさつをする」「学校行事や活動で心に残っていることがある」「グループで活動することは楽しい」「学校で学んだことは社会に出たときに役立つ」の各項目で100%の回答でした。他にも165の質問中、31項目が県平均と比べて10ポイント以上、上回っていました。2年生は、「祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか」などで10%以上県平均を上回っていました。逆に肯定率が大きく低かった項目は1年生が「自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりする」、2年生が「先生が認めてくれてうれしかったことがある」「先生はみんなのことをほめたり励ましてくれたりする」「自分の気持ちを分かってくれる先生がいる」「少しは大人になれたなと感じることがある」の項目で、2年生への職員の接し方や人間関係づくりは課題であると考えられます。調査結果をさらに分析し、よいところは伸ばし、課題は解決していくように努めます。

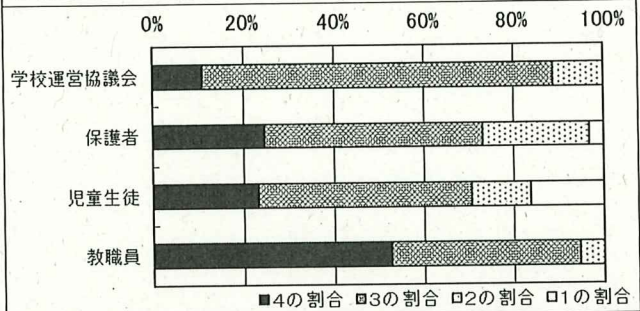
2学期末、学校評価アンケート結果より

12月に実施した学校評価アンケートについてはお忙しい中に回答いただきありがとうございました。その中で顕著な特徴のあった項目は次の2点でした。(4:そう思う~1:思わない)

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



教育方針や教育目標については、PTA総会が実施できず校長から直接説明する機会がありませんでしたので、学校だよりでの説明のみとなり、説明不足の点もあったと思います。生徒理解については、より良い関係づくりに不十分な面があるととらえ、今後、生徒に寄り添い、よりよい信頼関係の構築に努めていきます。

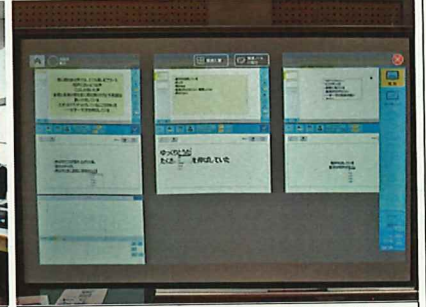
また、記述による意見・感想等としていただいた内容で、「学校北側の用水路に柵がなく登下校時に危険である」というご意見については、学校だけでは対応できませんので、教育委員会にも連絡しています。また、教科指導や生徒指導に関するご意見については、家庭学習の量も含め、職員会議や研修会等でも協議し、改善が必要な内容については改善していきます。

「ひ・か・わ」型学習とICTを活用した研究授業を行いました

氷川中学校では、生徒の学力向上のためにテーマを設定し、年間を通して研究を行っています。特に「ひ・か・わ」型学習とICTの効果的な活用を図り、授業の改善に向けての取組を進めています。その取組の一つとして、定期的に研究授業と授業研究会を行っています。2月2日に3年生の音楽で上田先生、2年生の保健体育で山下先生、さらに9日に2年生の数学で古閑先生が研究授業を行いました。



タブレットPCに意見をまとめる



まとめた意見をスクリーンで共有

音楽は、「長唄」の授業を行いました。「長唄」の特徴について、タブレットPCを使い、話し合った内容をグループごとに画面に映し出し、意見の共有をしました。



タブレットPCで実技の動画撮影



山下先生の心肺蘇生法の模範実技

保健体育は「心肺蘇生法」の授業を行いました。生徒一人一人が実演した動作をタブレットPCで録画し、自分の様子を確認しました。

数学の授業では、「箱ひげ図」を利用したデータ活用についての学習を行いました。「箱ひげ図」を活用し、優勝チームを予想するという問題に対して、タブレットPCを活用して自分の意見をまとめ、グループ協議を行い、お互いの意見を出し合う内容でした。



黒板とスクリーンを効果的に活用



タブレットPCを使い意見交流

それぞれの授業後は先生方で研究会を行い、さらにより良い授業となるように意見を出し合い、授業改善につなげていけるように協議しました。